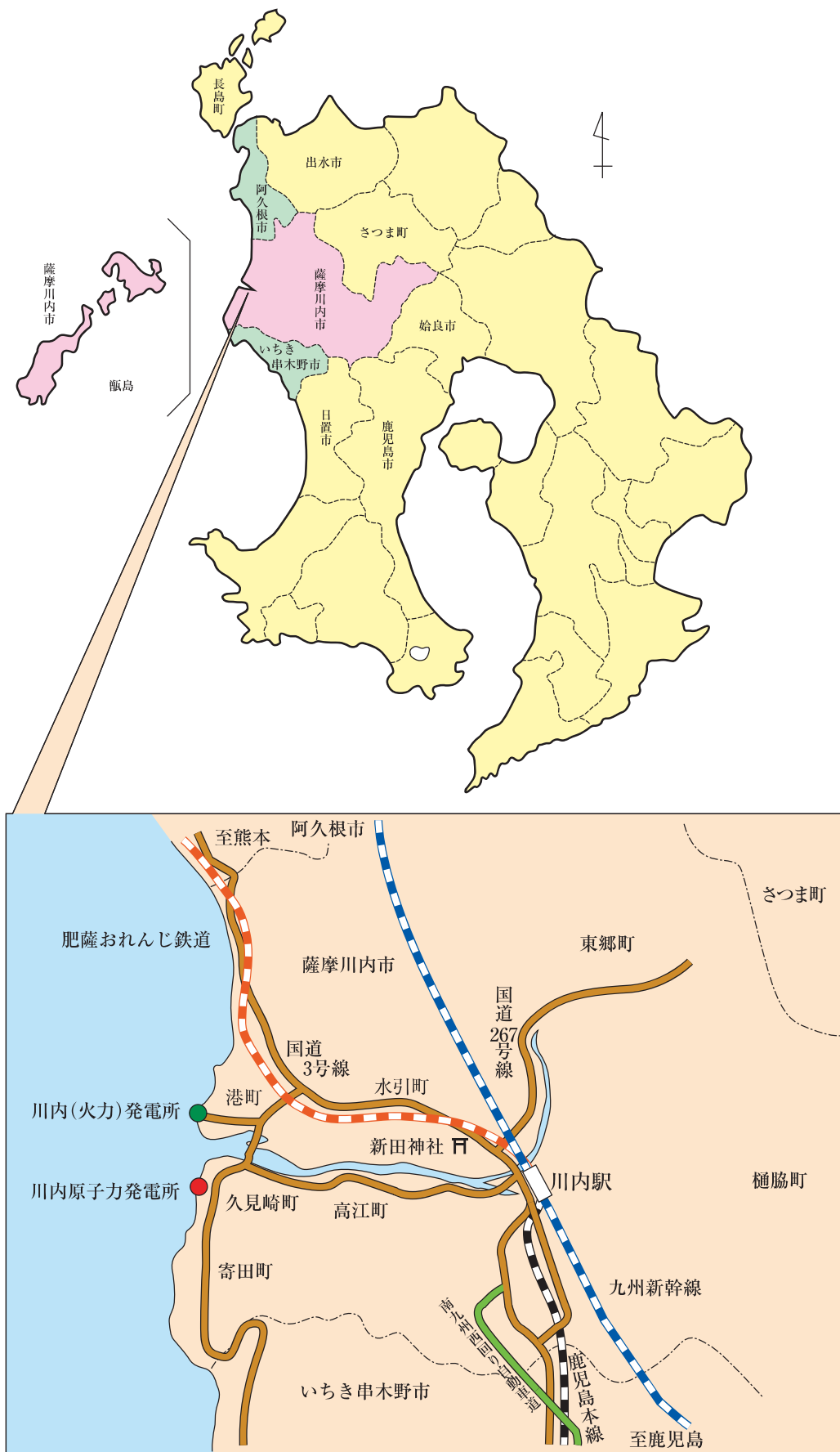
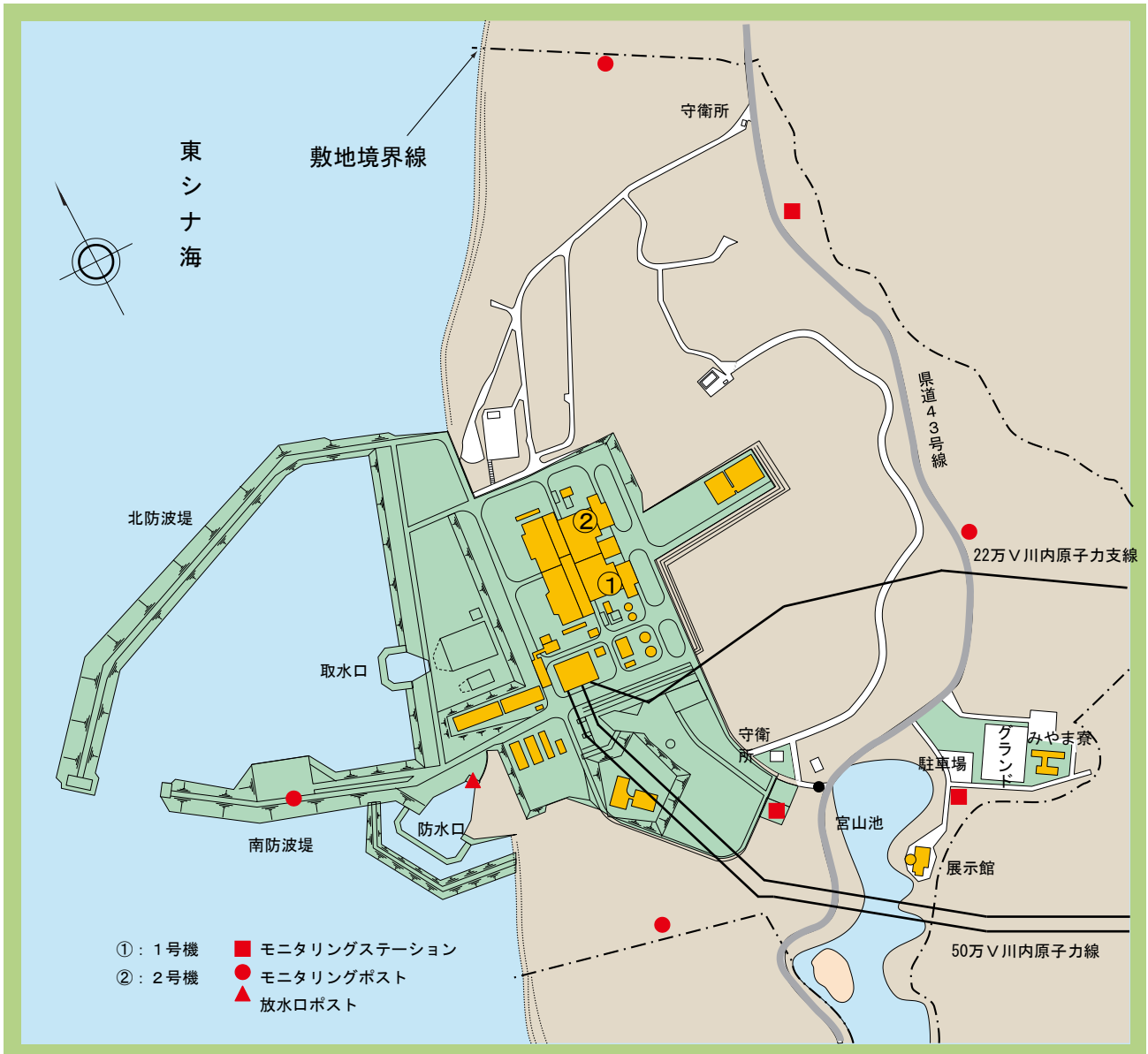


### Ⅲ 参 考 資 料

Ⅲ－1 川内原子力発電所位置図

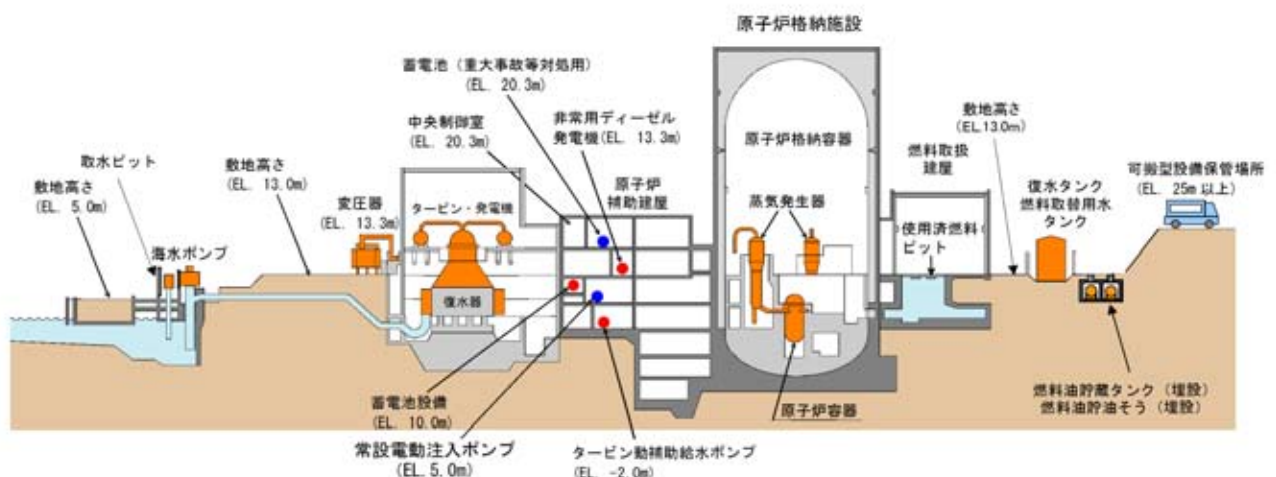


<発電所全体配置図>



※県道43号線は敷地外

<発電所断面図>



### Ⅲ－２ 川内原子力発電所の概要

川内原子力発電所は、1号機が昭和59年に全国で27番目、2号機が昭和60年に全国で32番目の商業用原子炉として営業運転を開始している。

項目		ユニット	
		1号機	2号機
所在地		薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3	
敷地面積		約145万m <sup>2</sup> （埋立面積約10万m <sup>2</sup> を含む）	
電気出力		89万kW	89万kW
原子炉	型式	加圧水型軽水炉（PWR）	
	熱出力	266万kW	266万kW
燃料	種別	低濃縮（約4.1%，約4.8%）二酸化ウラン	
	装荷量	約74トン （燃料集合体157体）	約74トン （燃料集合体157体）
冷却海水量		約64m <sup>3</sup> /s	約64m <sup>3</sup> /s
主要経緯	川内市議会・誘致決議	昭和39年12月15日	—
	建設計画発表	昭和45年 4月21日	昭和52年 3月29日
	電源開発調整審議会	昭和51年 3月12日 （第68回）	昭和53年 7月14日 （第75回）
	原子炉設置許可	昭和52年12月17日	昭和55年12月22日
	着工（基礎掘削開始）	昭和54年 1月24日	昭和56年 5月 7日
	安全協定調印	昭和57年 6月12日	
	初臨界	昭和58年 8月25日	昭和60年 3月18日
	初送電	昭和58年 9月16日	昭和60年 4月 5日
	営業運転開始	昭和59年 7月 4日	昭和60年11月28日
建設費		約2,800億円	約2,300億円

### Ⅲ－３ 原子力防災訓練当日の知事コメント（ぶらさがり取材）

本日の原子力防災訓練は、関係団体そして地元住民含めて、御協力により、無事実施することができました。

今回の防災訓練は、180の関係団体、およそ4,200人が参加するという大規模な訓練となりました。今回は特に家屋倒壊を想定した避難訓練、そして山間部に住む高齢者などの要支援者の避難訓練を含めて、様々な訓練を行うことができました。

今回の訓練により、様々な反省点、そして改善点も出てくると思いますので、そういった点を踏まえて、避難計画の見直し、そして様々な見直しを行って、県民の安心安全のために全力を今後とも尽くしていきたいと思っております。